

パティオトーチかがり火燃焼温度試験

対象機器 パティオトーチかがり火 MSPT1200 (石英ガラス管使用)

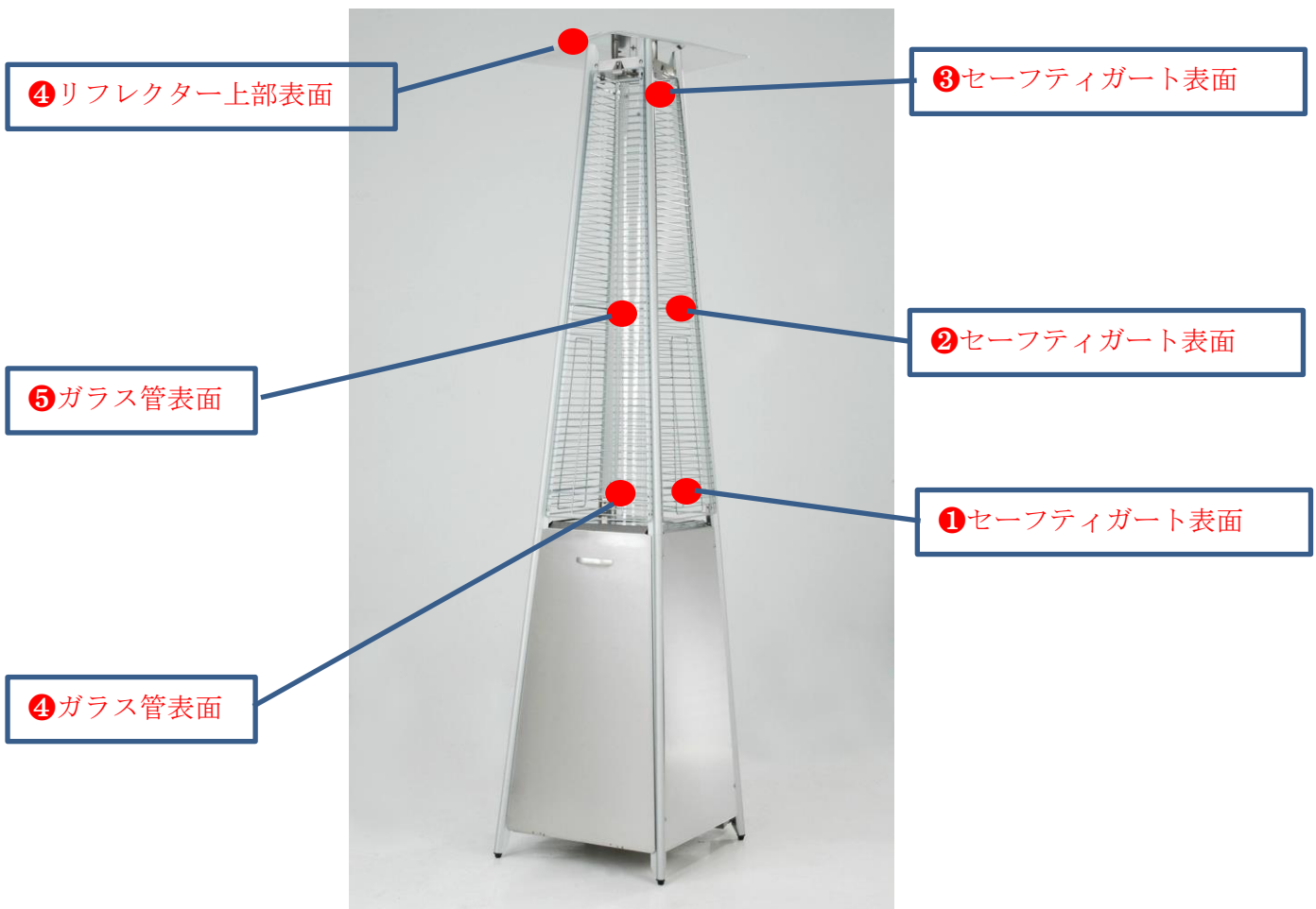
試験日時 平成30年4月2日

試験場所 有限会社いけだや本社試験室

計測機器 熱電対温度計 TP-16

試験者 2名

試験方法 製品を組み立て、2方向のセーフティガードを取り外し、ガラス管の表面温度の計測をできるようにした。最大火力を維持し、製品の6か所の地点を燃焼開始から10分毎に6回計測した。



試験データ

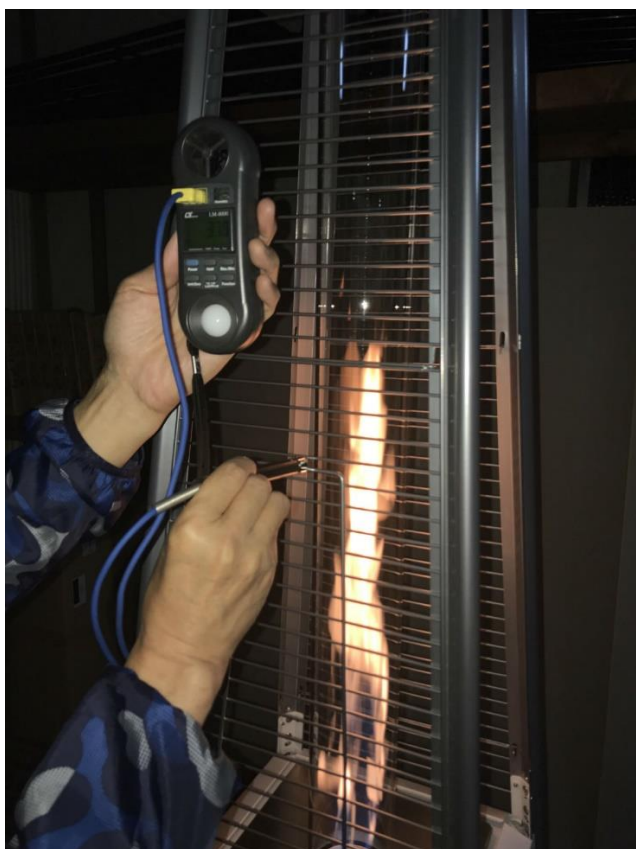
計測点／時間	10分後	20分後	30分後	40分後	50分後	60分後
①	23.3	28.3	33.5	35.8	35.2	32.0
②	34.3	37.9	39.0	46.9	42.0	42.0
③	71.1	65.1	52.1	62.7	64.0	62.6
④	159.0	172.9	165.3	212.6	199.0	187.1
⑤	285.0	272.7	288.3	258.1	286.9	263.8
⑥	287.0	266.1	270.1	285.9	280.3	279.0
室温	18.0	-	-	22.0	24.0	25.0

※数値は摂氏温度(°C)

①計測地点の表面温度



②計測地点の表面温度



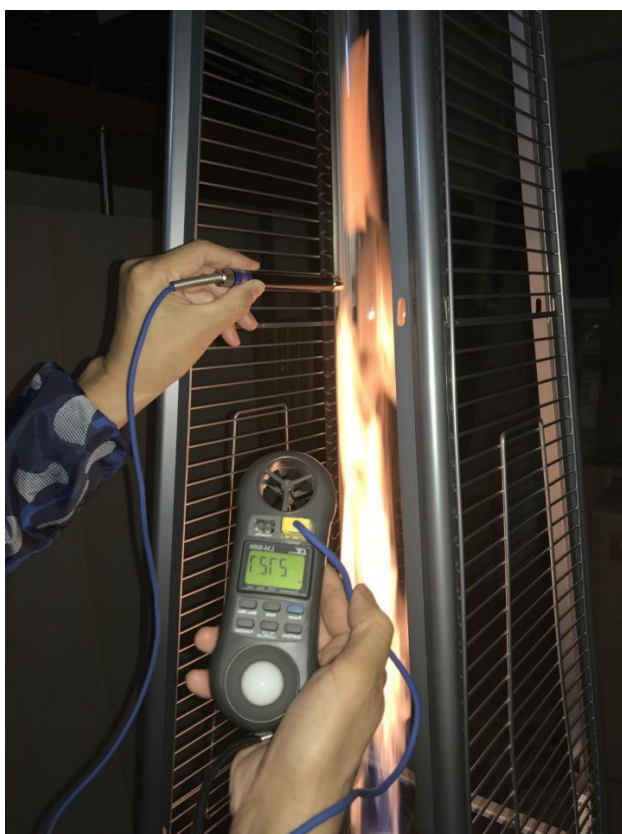
③計測地点の表面温度



④計測地点の表面温度



⑤計測地点の表面温度



⑥計測地点の表面温度



設置基準(火災予防上安全な距離)

可燃性壁からの隔離距離を1メートル以上と規定

可燃性天井からの隔離距離を1メートル以上と規定

上記基準は製品ラベルと取扱説明書に記載

上記検査データは、火災予防条例の隔離距離の判断資料として作られた。

計測データから本製品は「使用温度が摂氏300度未満のもの」に該当することを確認した。